

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 4 月 9 日

京都府知事 様



提出者

住 所 京都市山科区勧修寺東堂田町173番地12

氏 名 株式会社サイセイ建設
代表取締役西田利典

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 075-591-0116

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社サイセイ建設 (対象事業場：府内の各工事現場※京都市内除く)
事業場の所在地	京都市山科区勧修寺東堂田町173番地12 (対象所在地：京都府内 ※京都市内除く)
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	斫り・解体工事業
② 事業の規模	前年度元請完成工事高 176,183千円
③ 従業員数	15名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・がれき類（コンクリートがら）→ 再生処理業者に委託して再資源化 ・がれき類 → 再生処理業者に委託して粒状改良土として再資源化 ・木くず → 再生処理業者に委託してチップ材として再資源化 ・廃プラスチック類 → 再生処理業者に委託して選別し固形燃料として再資源化

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 解体現場内での手作業による分別 ・ 建設リサイクル法の順守 ・ 認定処理業者への持ち込み ・ 再資源化への心がけ		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 事業拡大に伴う排出量の増加が見込まれるため、出来る限り混合廃棄物の発生を抑えるように更に手選別を徹底し、優良認定処理業者のリサイクルプラントへ持込をする		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・予定なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。 ・再資源化率の高い事業者を選定している。 ・年に1回、委託先の現地確認を実施している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・電子マニフェスト対応可能な処理業者から選定する。 ・可能な限り優良認定業者を選定する。 ・電子契約を実施している業者とは電子契約を優先する。		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じた事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者の焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙の通り」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙の通り」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

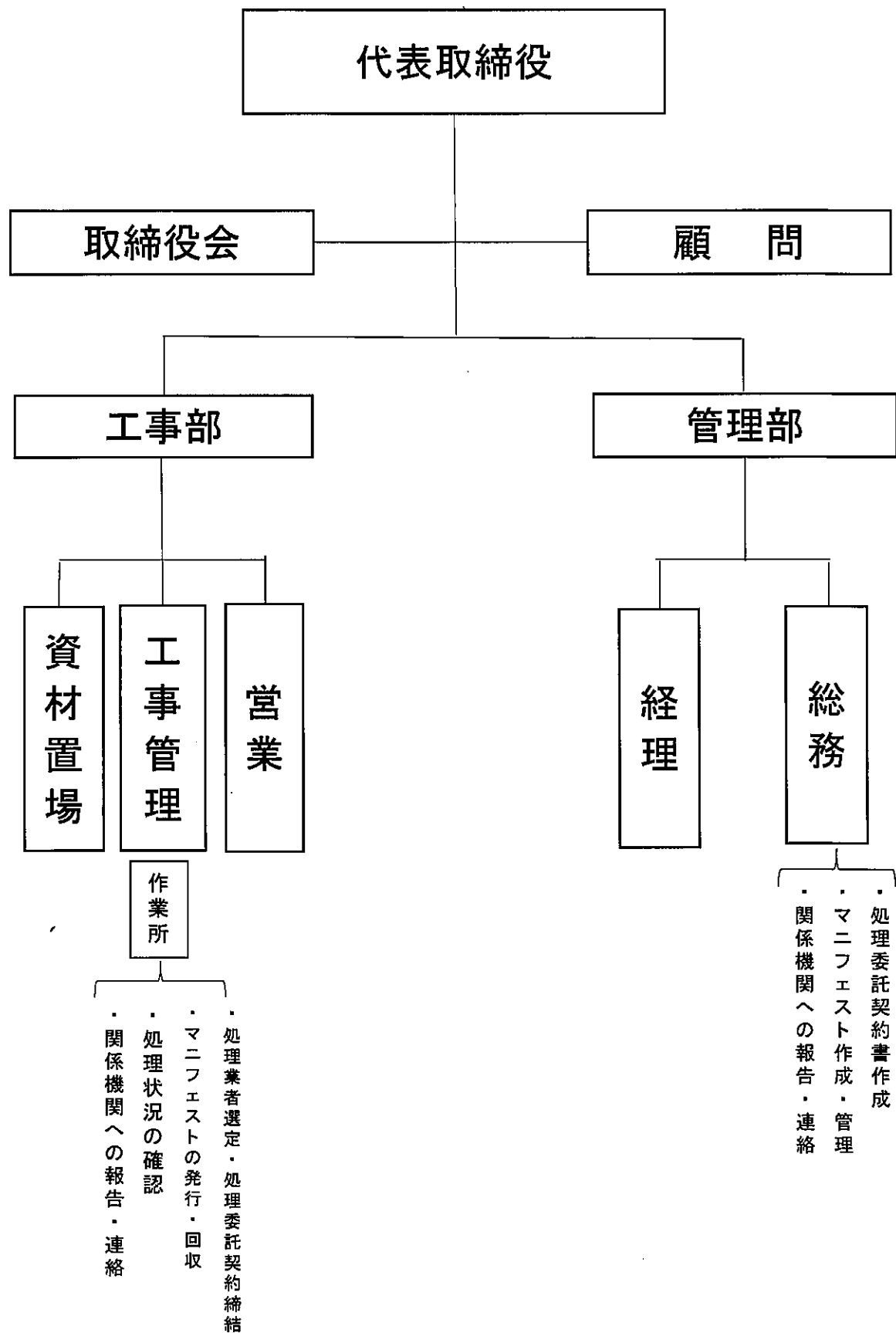
請じま

中間

量行収あへ

との入

株式会社サイセイ建設 組織図



産業廃棄物処理計画書の〔集計用シート〕

・下表にない種類の産業廃棄物については、「産業廃棄物の種類」欄に、品目を記載してください。
・行が不足すれば、適宜追加してください。

産業廃棄物の種類	① 排出量(t)		② 自ら直接再活用した量(t)		③ 自己処理増立処分又は海外移入処分した量(t)		④ 自ら中間処理した量(t)		⑤ ④のうち焼却を行った量(t)		⑥ 自ら中間処理した後の焼却量(t)		⑦ 自ら中間処理により増量した量(t)		⑧ 自ら中間処理した後の増立処分又は海外移入処分した量(t)		⑨ 焼却及び自ら自己処理した量の焼却量(t)		⑪＝①－②－③－④－⑤－⑥－⑦－⑧－⑨＋⑩＋⑪＋⑫＋⑬＋⑭＋⑮																⑯＋⑰自ら再活用を行った量(t)		⑱＋⑲自ら増立処分又は海外移入処分を行った量(t)	
																			再 生 分 による 区 分				⑩ 焼却施設等 への焼却量(t)		⑫ 焼却施設等以外の 焼却施設等への焼却量(t)		⑬ その他の中間処理 量(t)		⑭ 増立処分量(t)		⑰ 焼却施設等 への焼却量(t)							
																			⑩の量のうち、焼却施設等への 再生利用量(t) (⑩、④を除く)																			
																			⑪の量のうち、認定焼却施設 設置者である処理業者への焼却 処理量(t)																			
⑫の量のうち、認定焼却施設 設置者以外の焼却処理を行っている 処理業者への焼却処理量(t)				⑬の量のうち、焼却して焼却等の 中間処理した量(⑫～⑬を除く)				⑭の量のうち、直接処分して 焼却処分した量				⑰の量のうち、焼却施設等 への焼却量(t)				⑱の量と⑲の量を合計したもの (自動計算)		⑳の量と㉑の量を合計したもの (自動計算)																				
	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標		
燃え殻											0	0					0	0														0	0	0	0			
汚泥											0	0					0	0														0	0	0	0			
廃油											0	0					0	0														0	0	0	0			
廃酸											0	0					0	0														0	0	0	0			
廃アルカリ											0	0					0	0														0	0	0	0			
廃プラスチック類	4	2									0	0					4	2									4	2				0	0	0	0			
ゴムくず											0	0					0	0														0	0	0	0			
金属くず											0	0					0	0														0	0	0	0			
ガラスくず、コンクリートく ず及び陶磁器くず	2	2									0	0					2	2									2	2				0	0	0	0			
紙くず											0	0					0	0														0	0	0	0			
がれき類	177	50									0	0					177	50									177	50			120	30	0	0	0	0		
がれき類(コンクリートガ ラ)	1,922	100									0	0					1,922	100	1,922	100											0	0	0	0				
がれき類(アスファルトガ ラ)											0	0					0	0														0	0	0	0			
不くず	9	9									0	0					9	9	9	9											5	0	0	0	0			
繊維くず	1	1									0	0					1	1									1	1				0	0	0	0			
動植物性残渣											0	0					0	0														0	0	0	0			
動物系固形不棄物											0	0					0	0														0	0	0	0			
石綿含有産業廃棄物	1	1									0	0					1	1									1	1			1	0	0	0	0			
廃石膏ボード	50	25									0	0					50	25									50	25			0	0	0	0				
混合廃棄物(安定型)											0	0					0	0														0	0	0	0			
混合廃棄物(管理型)	31	15									0	0					31	15									31	15			0	0	0	0				
											0	0					0	0														0	0	0	0			
											0	0					0	0														0	0	0	0			
合計	2,197	205	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,197	205	1,931	109	0	0	0	0	0	0	255	95	1	1	120	30	0	0	0	0		

(注1) 0未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。